

## **最後の砦、運転士に全てを託すな！ 無理な効率化をやめ 余裕のある車両運用を実施せよ！**

名古屋地本は、3月7日、申第13号「特急ワイドビュー南紀号、台車亀裂に関する申し入れ」について業務委員会を開催しました。以下、申し入れと主なやりとりです。

### **【申し入れと回答】**

特急ワイドビュー南紀号、台車亀裂に関する申し入れ

1月21日、紀勢本線新宮駅構内で、紀伊勝浦発名古屋行きの特急ワイドビュー南紀4号に運行予定だった車両の台車軸箱に、約10センチの亀裂が入っているのを点検中の運転士が見つけたという事象が発生した。また23日には亀裂は20センチで破断まであと4センチだったと発表したと報じられた。

発車前に発見されたことで重大な事故に至ることはなかったが、JR東海労は、列車の脱線や部品落下による事故など大惨事に繋がる恐れがあった事象だと考える。直ちに適切な原因究明と速やかな対策実施が必要である。下記の通り申し入れるので、早急に団体交渉もしくは業務委員会を開催すること。

### 記

1. 発生原因が究明され再発防止策を実施するまで、同型車両による列車運行を見合わせる事。

**【回答】**当該車両と同じ型式のキハ85系、全80両について1月22日までに全軸箱体を目視で点検完了しており現時点で亀裂が生じている軸箱体はない。念のため現在は通常周期(10日以内)より短い周期(3~4日)で軸箱体の目視点検も実施しているため運行には支障ないと考えている。

2. 今回の事象についての全容を時系列で明らかにすること。

**【回答】**平成30年1月21日(日曜日)7時35分頃、紀勢本線新宮駅構内で、下り回送列車のJR西日本運転士が発車前の車両の点検を行っていた際、前から1両目の台車部品の一つである軸箱体に亀裂が入っていることを発見した。このため当該車両を使用して運転する予定であった上り特

急ワイドビュー南紀4号を全区間運休とした。

3. 会社は、今月 15 日に点検を行い異常は無かったとしているが、どのような点検を行ったのか明らかにすること。

【回答】名古屋車両区で仕業検査を行った。

4. 今回の事象では異音・異臭は感知されていない。突然の事態に対応する術がないと考える。会社見解を明らかにすること。

【回答】鉄道総研等の調査結果を受けて必要があれば適切に対応していく。

5. 亀裂が発見されずに運行した場合、どのような事態になったのか回答すること。

【回答】仮定の話には回答できない。

6. 過去に同事象があったのか明らかにすること。ある場合は発生日、車種を明らかにすること

【回答】今までに、軸箱体に亀裂が入ったことはない。

7. インシデントと認定された今事象を真摯に受け止め車両の仕業検査・交番検査等の周期・基準を見直すこと。

【回答】鉄道総研等の調査結果を受けて必要があれば適切に対応していく。

#### 【主なやりとり】

組合: 亀裂は一気に入ったのか。それとも徐々にいったのか。

会社: 調査結果が出ていないので明確には回答できないが、小さいひび割れが以前からあり亀裂になったと考えている。

組合: 空洞が入っていたと発表があった。鋳物の場合は同行程で制作されるので他の軸箱体も同じような状態にならないのか。

会社: X線透過検査、浸透探傷検査を行っている。

組合: 同一メーカーの軸箱体605個が使用されているが、他の型式車両でも行っているのか。

会社: キハ75形・211・213・311等電車も含めて行う。

組合: 短い周期で全て行っているのか。

会社: 行っている。車両区に入区しないときは、運転士に目視点検して貰っている。

組合: 運転士の目視で判るのか。今回は、上部が亀裂したが発見できない場合もあるのではないのか。

会社: 下部が割れることは厚いため考えられない。

組合: 本来なら、車両技術係が点検すべきである。効率化・省力化によるしわ寄せである。

会社: 周期が長くなる部分は運転士にお願いする。

組合: 現場では何も知らされないまま対策をやらされている。これでは何を目視するのか判らない。

会社: 確かに周知されていないことはあると思うし、周知されていないことも知らなかった。プレス発表や新聞記事を読むことも社員として当然とは考えるが、指摘は受け止める。

組合:目視点検はいつまで続けるのか。

会社:総研からの結果を見て判断していく。

組合:回答で鉄道総研等とあったが他は何か。

会社:メーカーである。

組合:メーカーはどこなのか。

会社:納入時は山本重工業で現在は、吸収合併されて新報国製鉄である。

組合:キハ85系の製作初年度は何時なのか。

会社:昭和63年である。

組合:台車交換はするのか。

会社:しない。同じ台車をずっと使用する。

組合:今回の故障した台車はどうなっているのか。

会社:軸箱体のみ調査している。他の部分は使用している。

組合:この事象を契機に新型車両投入を早めることはないのか。

会社:それはない。経年劣化が原因ではなく製造時に問題があった。

組合:85系は他にも故障や不具合が発生している。早めるべきである。

会社:早めることも必要だが、品質も重要である。

組合:車両の異常を感知する装置は考えているのか。

会社:車軸の温度は判る。キハ25形には振動検知もある。

組合:仮定の話は回答できないとしているが、現場社員の事象については仮定で脱線・転覆の恐れがあると過大に書き立て、世間に対しては脱線の恐れはないと過小に報じられている。

会社:社員に対しては仮定の話で想像して役立てている。

組合:インシデントは重大と受け止めているのか。

会社:あってはならないことなので重大と認めている。

組合:この間も、云ってきたが効率化により人が少ない。技術継承の問題もある。安全な車両を提供し乗客・乗務員の命を守ること。

以 上